

特集

# オフハイウェイタイヤ事業の強化による モビリティ業界の変革への貢献

世界市場における経済の発展による食料の増産や物流の拡大により、オフハイウェイタイヤ (OHT) 市場は今後成長が見込まれています。横浜ゴムグループでは、安定的に高い収益が期待できるOHT事業での収益拡大を目指し、2023年5月にTrelleborg Wheel Systems Holding AB (TWS) の全株式を取得し、子会社化しました。OHT市場において高い技術力を誇る同社と協業し、さらなる成長を目指します。

## タイヤ生産財市場の現状と当社の課題

現在の世界市場規模は、約20兆円の中で、タイヤ消費財とタイヤ生産財が1:1となっていますが、今後CASEやMaaS、DXが浸透するにつれ、個人所有の車が減少し、人や物の移動を支えるインフラ車両の増加が予想されています。当社は、タイヤ生産財の中でも安定的に高い収益を確保できるOHT事業を成長ドライバーと位置づけ、事業の拡大に注力しています。

2022年のOHTの世界市場規模は約300億米ドルであり、2023年から2027年までの期間において年平均成長率 (CAGR) 6%で成長し、2027年には約400億米ドルに達すると予測されます。これは、主要市場である北米の継続的な安定成長に加えて、アジア太平洋地域の人口急増と大都市への移住による住宅建築の



















ニーズの高まりや、農業、鉱業等の各分野における世界的な成長が見込まれているためです。

今回のTrelleborg Wheel Systems Holding AB (TWS) の買収により、現在2:1になっているタイヤ消費財とタイヤ生産財の売上構成比を世界市場規模に合わせて1:1に適正化を図るとともに、成長機会の捕捉と社会の課題の解決により、持続的な成長を目指します。

## TWS: 農業機械・産業車両用タイヤの トップメーカー

TWSはイタリアのティボリに本社を置くOHTのトップメーカーで、1909年にタイヤの生産を開始して以来110年以上の歴史の

### ▶ TWS参加後: OHT 商品ポートフォリオ

										
		Agriculture	Construction	Earthmover and Mining	Forestry	Lawn Garden & Turf	Material Handling	Truck (off highway)	Two wheelers	Rims
Tier 1			✓	✓			✓	✓		
										
Tier 2										
Tier 3		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
										
TWS参加後										
Tier 1		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓
										
Tier 2		✓	✓	✓	✓	✓	✓		✓	
										
Tier 3		✓	✓	✓	✓	✓	✓	✓		
										



ある会社です。生産品種は農業機械用が約60%、産業車両用が約20%、残りを建設車両用と二輪車用が占めており、農業機械用、産業車両用タイヤは世界トップクラスの商品力、ブランド力や技術力、サービス力を誇ります。2022年度の売上高は132億777万スウェーデンクローナ（約1,725億円）であり、10年間で売上高、EBIT (Earnings Before Interest and Taxes) 共に3倍以上と成長を続けています。

## TWSの買収によりモビリティ業界の変革への対応力を強化

### 商品ポートフォリオの拡充

TWSの買収により、ベーシックからスタンダード、プレミアムまですべてのカテゴリーにおいて農業機械用、建設車両用タイヤのブランドラインアップが完成します。これにより販路対応がしやすくなるとともに、景気変動への耐性が高まります。

### 主要市場をカバーするグローバルネットワーク

TWSの生産拠点は、欧州（イタリア、チェコ：3拠点、ラトビア、セルビア、スロベニア）、北米（米国：2拠点）、南米（ブラジル）、アジア（中国：2拠点、スリランカ：2拠点）の9か国に14拠点を保有し、販売では同社の売上の約60%を欧州が占めます。当社グループが強みを持つ日本、北米、アジアに、TWSが得意とする欧州を加えることで、主要市場をカバーするグローバルネットワークが構築でき、さらなる成長が期待できます。

サービス面においては、TWSが産業車両用タイヤ向けに世界21か国、83拠点で展開する独自のタイヤメンテナンスサービスを農業機械用、建設機械用タイヤ向けにも広げていきます。

## DXの活用

TWSは、当社同様に空気圧やタイヤ内温度の遠隔監視システムを開発しています。Adaptive Tire Management System (ATMS) は、荷重、圧力、温度などの作業条件をリアルタイムに検知し、常に最適なトラクターの車両設定を提案することで、農業の生産性の向上を実現するシステムです。また、建機/港湾車両向けに開発されたTire Pressure Management System (TPMS) は、常時空気圧と温度をモニタリングし、作業効率の向上とオペレーターの安全性を確保しています。当社とTWSのDXに関する知見を融合することで、利便性と効率性を高めたサービスの提供を推進します。



ATMS: データによるトラクターの最適パフォーマンスを実現



TPMS: 建機港湾車両向けデジタルツールマンズを実現

## 今後の課題と対応策

今後は、TWSの買収シナジーの最大化が課題であり、その実現に向けて、PMIプログラムを遂行しています。具体的には、双方の拠点を活用し、地域のニーズに合った最適な生産・販売・サービス・品質保証体制の構築、研究開発の知見を融合し、新たなタイヤ商品やサービスの創出、サステナブル原料の活用などサステナビリティの取り組みの強化など、すべての領域において当社とTWSの強みを融合し、OHT事業のさらなる成長に取り組みます。